

ふれあい さいせい



発行
済生会西条病院
 2009年 夏号 第44号
 西条市朔日市269-1
 TEL (0897) 55-5100

社会保障の充実した日本を

院長 岡田 眞一

西条市医師会体験学習会が開催されました!

医療情報管理室 神原 勝己

脳ドックを再開しました!!

いしづち苑の七夕祭り

いしづち苑 主任介護士 川崎 裕子

いしづち苑の夕涼み会

いしづち苑 介護福祉士 秋月 絵美

日食を撮ろう!! ~無謀なチャレンジ~

持参薬の確認を行っています

ニューフェイス

雲の間から垣間見えた日食 撮影：医療情報管理室 神原 勝己

社会保障の充実した日本を

院長 岡田 眞一



院長
 岡田 眞一

46年ぶりの天体ショーに沸いた7月でした。各地で神秘的な日食が観察されていますが、西条はあいにくの曇り空で、きれいな部分日食さえも見ることはできませんでした。次回26年後の皆既日食に期待したいと思います。

また、今月は厚生労働省から2008年の日本人の平均寿命についての発表がありました。女性は86.05歳と24年連続の世界一位、男性は79.29歳と過去最高で世界第4位という報告です。この結果について、テレビで街頭インタビューが行われていました。満足する人もいましたが、『今みたいな日本なら長生きしたくない』と答えていた若者がいて、その言葉が非常に印象に残ります。

人が安心して暮らし、長生きして良かったと思う未来は、社会保障、特に医療と福祉が充実していなければなりません。ちょうど、衆議院の解散があり、政局が不安定になっています。各政党のマニフェストから、今後医療の分野で何か新しい扉が開かれることを期待します。

院内については、今年の2月から電子カルテとオーダーリングシステムを導入し、その後スムーズに運営できています。診療が効率化され、患者さんのサービスにつながればと思っています。

医療現場はまだまだ厳しい状況ですが、これからも職員一同頑張っていきたいと思いますので、ご支援の程をよろしくお願い致します。

西条市医師会体験学習会が開催されました

医療情報管理室 神原勝己

西条市医師会体験学習会が当院2階講堂にて開催されました。

この体験学習会は、西条市医師会の4病院がそれぞれの臨床経験を発表することで、各医療機関ごとに蓄積された診療に関する知識を共有し、より緊密な医療連携関係を構築することを目的に、4病院の持ち回りで年4回開催されています。

7月28日に開催された体験学習会では、岡田眞一院長のあいさつに続き、当院で行われているエコー検査や、臨床の場で医師が経験した興味深い症例について6演題が発表されました。

当日の演題は以下の通りです。

1. 腎動脈エコー検査はどのような症例に施行すべきか
臨床検査部： 臨床検査技師 ○和田 有加
2. 後腹膜鏡下左腎部分切除の1例
泌尿器科： ○稲田 浩二、越智 達正
3. ステロイド剤が著効した非ヘルペス性脳炎の1例
脳神経外科： ○浦元 広
4. Direct Anterior Approach (DAA)を用いた人工股関節置換術、人工骨頭置換術の手術経験
整形外科： ○藤井 裕子、白形 陽生、亀井 節也
5. 興味ある脾腫瘍の1例
内科： ○山上 隆司
6. 当院の悪性リンパ腫に対する治療について
外科： ○石井 博

当院生理検査室・和田エコー技師からは、当院で行っている腎動脈エコーについて、腎動脈狭窄症例における冠動脈疾患、末梢動脈疾患との合併率について統計資料を交えた発表があり、泌尿器科・稲田医師からは後腹膜鏡下左腎部分切除の様子が動画により発表されました。また、石井外科部長からは悪性リンパ腫の治療方法について、化学療法による経過の推移についてCT画像を交えた発表がありました。

平日の夜にもかかわらず参加者の数は40名を越え、各演題発表終了後の質疑応答では参加者から活発な質問が飛び交うと同時に、参加者の真剣な眼差しが印象的な発表会でした。



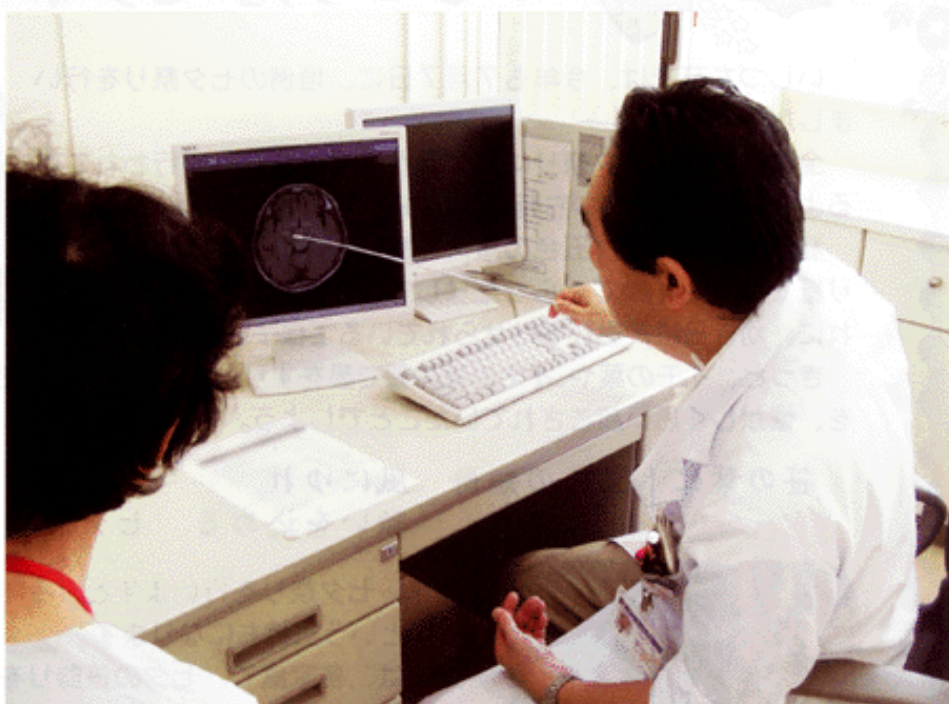
脳ドックを再開しました！

検診センター

常勤の脳神経外科医がいなくなり、脳ドックをしばらく休止していましたが、この4月に常勤の脳神経外科医が着任しましたので、再開しました。

脳ドックは、脳の断面や血管像の撮影、その他種々の検査を組み合わせ、くも膜下出血の原因ともなる脳動脈瘤、その他の脳血管障害やその前兆、脳腫瘍などを発見したり、脳の健康状態を診断するドックです。

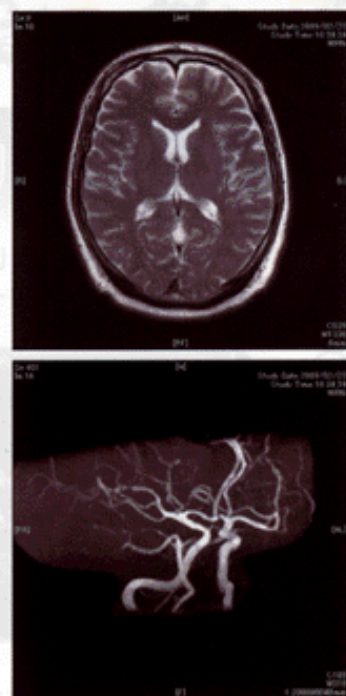
年齢制限がございませんのでどなたでも申し込むことができます。



①脳ドック

検査内容 42,000円(税込)

診察・問診	問診、既往歴、症状
身体計測	身長、体重、BMI、腹囲、視力
頭部	MRI・MRA
血液検査	赤血球、白血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数
尿検査	PH、尿蛋白、尿潜血、ウロビリノーゲン
腎機能	クレアチニン、尿酸、BUN
肝機能	GOT、GPT、γ-GTP
糖検査	尿糖、空腹時血糖、ヘモグロビンA1C
脂質検査	総コレステロール、中性脂肪(TG)、HDLコレステロール、LDLコレステロール
呼吸器	胸部X線直接撮影
循環器	血圧、心電図、心エコー検査、頸動脈エコー、動脈硬化度(ABI)
その他	高次脳機能テスト、神経学的検査、眼底検査



②健診実施日時

毎週金曜日、午前8時20分から(祝祭日を除く)

③お申し込み方法

病院ホームページのトップページから「検診・人間ドック」のページに入り「脳ドック」のページから申し込み書を印刷・記入の上、検診センターまでFAXでご持参の上、ご提出ください。申込書を提出いただいた方には、受診日を決定の上、健診に必要な書類等をお渡しいたします。

なお、脳ドックは非常に好評につき、秋まで予約が取れない状態になっています。ご了承の上、お申し込み願います。



いしづち苑 七夕祭り

いしづち苑
主任介護福祉士 川崎裕子

いしづち苑では、今年も7月7日に、恒例の七夕祭りを行いました。

全国的には、七夕祭りは、7月か8月に分かれて行われているようですが、いしづち苑では、毎年7月7日に行っております。

利用者さんには、五色の短冊に願いを書いてもらったり、折り紙で飾りを作ってもらったりしておりますが、皆さんそれぞれに、幼き日に、思いをはせられている様子でした。

きつと、イモの葉や、イネの葉の露で墨をすり、願いを短冊に書き、笹の葉に結ばれた遠き日々を、懐かしく思い起こされていたことでしょう。

笹の葉に 五色の短冊 風にゆれ
願いを込める 七夕祭り



毎年、七夕祭りを行いますと「今年も夏が来たんだなあ」という気持ちになります。

近年は、各家庭で、七夕の笹飾りをする事は殆どなくなり、商店街などのイベントとしての「七夕祭り」となってしまいましたが、夏にふさわしく、またどこか、郷愁を誘うこの伝統行事を、いしづち苑では、いつまでも続けていきたいと思っております。

いしづち苑の夕涼み会

いしづち苑
介護福祉士 秋月 絵美

7月25日(土)、いしづち苑の4階フロアに人があふれています。

梅雨が明けず、ぐずついた天候のため、今年の夕涼み会は、屋内での開催となりました。



呼び物の「花火」が打ち上げられないため、急遽、常光センター長に一曲お願いすることとなりました。前日まで、全国介護老人保健施設大会へ座長として、新潟へ出張されており、カラオケなしのぶっつけ本番となりましたが、見事に会場を盛り上げて頂きました。

夏の夜 センター長の 歌声に
手拍子楽し 夕涼み会

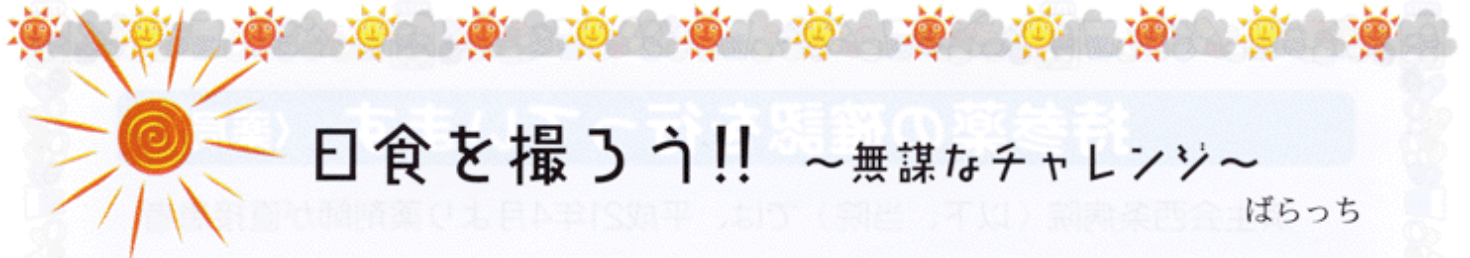
その後、常光センター長の熱唱に負けじと、にぎやかに「よさこいソーラン」踊りが披露され、舞台と一体となった手拍子が、4階フロア一杯に響きわたりました。

軽やかに よさこいソーラン 舞い踊る
若さはじける デイシスターズ

ファイナーレは、全員で「青い山脈」を合唱し、楽しい夏の一夜となりました。

来年の夕涼み今は、星空の下、打ち上げ花火を楽しみたいと思います。





日食を撮ろう!! ～無謀なチャレンジ～

ばらっち

7月22日午前、奄美諸島を中心に実に46年ぶりとなる皆既日食が観測されました。太陽の前を月が横切ることによって太陽が徐々に欠けて行き、やがて見えなくなってしまうこの天体現象。奄美諸島へのツアーは高額。しかしツアーに参加しなくても西条でも薄く三日月状になった日食が観測できる…と聞いて思い立ちました。

「日食を撮影してみたい!!」



そしてその日がやって来ました。

準備は…何もできていません!!

日頃の忙しさからすっかり忘れてました(^^;)

実は前日の夜に観測グラスを探しに行っただんですがどこも品切れ。そりゃそうですね、前日ですもの。そんな訳で諦め切って迎えた22日午前。窓際の机で仕事をしていたときでした。

「あれ?窓の外に人が並んでいる?? しかもみんな空を眺めてる・・・!」

そうです。今まさに日食!!

装備は無いけれどとにかくデジカメを掴んで駐車場に出てみました。

空はあいにくの曇り空。しかし人生万事塞翁が馬!!うす曇りの雲間から薄っすらと三日月状の太陽が!!

これはチャンス!!

うす曇りのむこうから白く輝く三日月状の太陽にカメラのレンズを向けます。露出を下げても…まだ眩しい!! そこへ職場の先輩が紫色のクリアファイル差し出してくれました。クリアファイル越しに再チャレンジ!!

結果、こんな写真を撮ることが出来ました。↓



日食を観る人々(当院駐車場にて)



※太陽を直接見るのは危険です。必ず観測グラスを使用しましょう!!

次の日食は26年後。

デジカメもインターネットも無かった26年前。今、社会は大きく変貌し、技術は格段に進歩しました。そして26年後、私たちはどんな暮らしをしているのでしょうか?

三日月に光る太陽を眺めながら決して遠くない未来に思いを馳せた瞬間でした。



持参薬の確認を行っています 〈薬局〉

済生会西条病院（以下、当院）では、平成21年4月より薬剤師が直接患者さんのところに伺い持参薬の確認を行っています。

持参薬とは、患者さんが入院時に持参された医薬品や市販薬（OTC薬など）のことであり、薬剤に類する作用のある健康食品もその中の1つです。

健康食品に限らず、医薬品の中には他の薬剤の効果に影響を及ぼす可能性のあるものや飲み合わせの悪いものなどがあるため、入院し治療される場合にはそのようなことを事前に確認しておくことが大切となります。そのため患者さんには薬剤などのほかにもお薬手帳の持参も合わせてお願いしております。

また当院では、患者さんの同意のもと薬剤を安全に確実に服用していただくために医療安全の観点から原則として持参薬の再利用は行っておりません。ご協力をお願いします。